

カーボンニュートラルやまがたアクションプラン(骨子案)

趣旨

持続的発展が可能な豊かで美しい山形県を目指し、県民・団体・事業者等が2050年カーボンニュートラルの実現に向けて今後主体的に行う取組みを明示し、それぞれの行動に結びつける

基本的な考え方

- ◇あらゆる分野について脱炭素型のライフスタイルへの転換を促し、浸透させていく
- ◇当面は既存手法・技術を徹底活用しつつ、並行して新技術の導入も引き続き推進していく
- ◇環境と成長の好循環を図り、地域の課題解決にもつなげていく

期間

2021~2025年度の5年間
(第4次山形県環境計画の中間年度まで)

取組みの柱

- ① 徹底した省エネの推進 ② 再生可能エネルギーの導入拡大 ③ その他対策の総合的な展開

アクション体系イメージ

【アクション主体】 赤色: 県民 青色: 事業者・団体・行政 緑色: 県民・事業者等の双方

	住まい・暮らし	産業・事業	交通・物流
① 徹底した省エネの推進	行動での省エネ ・家庭の省エネアクション ・ごみ削減の徹底(食品ロス削減、プラスチック削減、分別徹底、環境配慮製品購入促進)	・事業所の省エネアクション	・エコドライブ、エコ通勤 ・公共交通機関利用 ・再配達の削減 ・自転車利用
	家電での省エネ ・高効率家電への買替え	設備での省エネ ・高効率設備への更新	事業での省エネ ・高効率製品の開発・販売
	建物での省エネ ・健康で快適に暮らすための住宅の高断熱化 ・ZEH(ネットゼロエネルギーハウス)	農林水産業での取組み ・農薬・化学肥料の低減 ・スマート化、高効率化 ・農業分野での再エネ活用	次世代車への転換 ・家庭用・業務用車両のEV、HV等への更新 交通インフラでの省エネ ・道路照明等のLED化 ・渋滞の緩和
② 再生エネの導入拡大	発電/蓄電設備の導入促進 ・家庭、事業所での更なる設備導入 ・FIT/全量売電に頼らない設備の拡大	・公共施設での更なる再生エネ設備導入 ・地域の自然環境と調和した再生エネの導入推進 ・洋上風力発電への理解醸成、事業者の参入拡大	ゼロカーボンドライブ導入 ・各種電動車を再生エネで充電、電動車を蓄電池に 交通インフラの再生エネ利用 ・空港等での再生エネ電力利用
	再生エネ熱の利用促進 ・太陽熱、森林資源等の更なる活用	地域新電力による再生エネ電力地域内供給 ・電力需給管理を行うアグリゲーター育成 ・地域への利益還元 ・県内各地域での地域新電力設立 ・企業誘致へのインセンティブ化	新エネルギー導入検討 産業と物流の脱炭素化 ・水素エネルギー、バイオ燃料等の導入検討 ・カーボンニュートラルレポート形成に向けた検討
	再生エネ電力の利用拡大・地産地消 ・再生エネ電力への切替 ・地域新電力を活用した再生エネ地産地消		
③ その他対策の総合的な展開	脱炭素への意識転換 ・幅広い世代への普及啓発 ・個人の消費/投資活動の意識転換 ・SDGs経営、環境等に配慮した投資活動への意識転換		電動化に対応した交通・都市インフラ整備 ・EV等の増加に対応した充電設備の充実
	環境学習の推進 ・若い世代の参画・活躍促進 ・子どもから大人まで、ライフステージに応じた環境学習		自家用車依存からの脱却 ・公共交通機関の利便性向上 ・デマンド交通等の公共交通の維持・拡充 ・自家用車に過度に依存しないコンパクトなまちづくり、歩きやすいまちづくり
	森林吸収源対策 ・森や木との触れ合い ・建築物の木質化等 ・県産材を使用した木製品の開発・販売・活用	やまがた森林ノミクス ・健全な森林整備と着実な再造林	

